第3回　再エネ講座シンポジウム2022

１．主　　催　 京都大学経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座

２．開催日時　12月９日（金）9：30～17：40　＜会場・オンライン＞

３.　会場　一橋大学一橋講堂（中会議室１～４）

（Zoomウェビナーによるオンライン同時開催）

〒101-8439　東京都千代田区一ツ橋 2-1-2　学術総合センター内

https://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html

４．プログラム

本シンポジウムはウクライナ危機後、エネルギー価格高騰や電力需給ひっ迫の中でエネルギー政策をどうかじ取りすべきか、参加者の皆様とともに考えたいと思います。午前中は本テーマに関して若手研究者が最先端の実証研究の結果を報告、議論します。午後のシンポ第1部では、脱炭素化に向けてカーボンプライシングをどう導入すべきか、2人の有識者が経済・産業影響についての分析結果を踏まえ、提言を行います。第2部では、岸田政権が原発新増設・再稼働を打ち出す中、電力需給ひっ迫・価格高騰の問題にどう立ち向かい、中長期的に脱炭素化への道筋をつけるか、3人の有識者が討論いたします。

■　2020年12月9日（金）9：30～12：00

　　若手研究者による電力市場研究の(専門家向け)ワークショップ（司会：安田　陽）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催時間 | 演題 | 登壇者（敬称略） |
| 9：30-9：35 | 開会の挨拶 | 諸富　徹：  京都大学大学院経済学研究科　教授 |
| 9：35-10：10 | 「連系線の制度改革の経済効果：間接オークションの実証分析」  （25分講演/10分質疑応答） | 杉本　康太：  （東京財団政策研究所　博士研究員） |
| 10：10-10：45 | 「電力市場価格高騰の原因と価格高騰時の再エネの役割」  （25分講演/10分質疑応答） | 馬　騰：  （京都大学大学院経済学研究科　特定講師） |
| 5分休憩 | | |
| 10：50-11：25 | 「欧州電力市場の価格高騰要因と価格高騰時の再エネの役割～ドイツ市場を対象として～」  （25分講演/10分質疑応答） | 杜　依濛：  （京都大学大学院経済学研究科　特定講師） |
| 11：25-12：00 | “Electricity System Flexibility in the High LNG Price Era in Japan: A Simulation Analysis”  （25分講演/10分質疑応答） | 張　砣：  （京都大学大学院経済学研究科　特定助教） |
| 60分休憩 | | |

* 第１部　2022年12月9日（金）13：00～15：05

『カーボンプライシングのあり方：その経済・産業影響の分析を踏まえて考える』

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催時間 | 演題 | 登壇者（敬称略） |
| 13：00-13：05 | 第1部　シンポジウム開会挨拶・趣旨説明 | 諸富　徹：  京都大学大学院経済学研究科　教授 |
| 13：05-13：35 | 「カーボンプライシングについて何が分かったか：日本での制度設計への視点」 | 有村　俊秀：  早稲田大学政治経済学術院　教授 |
| 13：35-14：05 | 「日本の2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素政策設計と経済・産業影響分析：大規模グローバルマクロ計量経済モデルを用いた分析」 | 李　秀澈：  名城大学経済学部教授 |
| 14：05-14：35 | 共通質問 | 諸富　徹 |
| 14：35-15：05 | パネルディスカッション | 司会：諸富　徹 |
| 15分休憩 | | |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 15：20-15：30 | スポンサー企業代表挨拶 | 須藤　豊：  エネルギー戦略研究所　社長 |

* 第2部　2022年12月9日（金）15：30～17：30

『エネルギー価格高騰・電力需給ひっ迫下の電力システムのあり方を考える』

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催時間 | 演題 | 登壇者（敬称略） |
| 15：30-15：35 | 第2部　趣旨説明 | 安田　陽： 京都大学大学院経済学研究科　特任教授 |
| 15：35-15：45 | 「原子力政策の再検証：寿命撤廃、再稼働加速、新・増設等は妥当か」 | 鈴木 達治郎：  長崎大学核兵器廃絶研究センター　副センター長・教授 |
| 15：45-15：55 | 「エネルギー危機とカーボンニュートラル」 | 橘川 武郎：  国際大学副学長・大学院国際経営学研究科　教授 |
| 15：55-16：05 | 「エネルギー価格高騰・電力需給ひっ迫への短期的／中長期的戦略」 | 諸富　徹：  京都大学大学院経済学研究科　教授 |
| 16：05-17：10 | 意見交換・討論 | 司会：安田　陽 |
| 17：10-17：30 | フロア討論 | 司会：安田　陽 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 17：30-17：40 | 閉会の挨拶 | 山家 公雄：  京都大学大学院経済学研究科　特任教授 |

5．参加定員　　約300名様（会場参加は先着100名）  
　※セミナーの録画および録音等はご遠慮いただいております。  
  
6．参加費　　無料  
　※事前のお申込みが必要です。  
  
7．参加のお申込みについて  
　※ご参加をご希望される場合は、下部URLよりお申込みいただきますようお願い

申し上げます。  
　　▼対面参加希望はこちら　※会場参加の方はお名刺をご用意ください。

https://forms.gle/eZTjLJJbnGmMH93j7  
　　▼オンライン参加希望はこちら

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\_AnVhaXYqTvKSIUQg50-Vqw

8．シンポジウム使用システムについて（オンライン参加）  
　　Zoomウェビナーを併用してのオンラインシンポジウムとなります。  
　　事前にご登録やPCにシステムをダウンロードしてない場合でも、主催者側から  
　　お送りするURLにアクセスいただくことでご参加いただけます。  
　※スマートフォン・タブレットからはアプリをダウンロードしていただく必要が  
　　ございます。  
　※通信料はご参加者さまご負担となりますので、Wi-Fi環境下でのご参加を

おすすめします。

9．報告資料について

開催1週間前を目途に、本ページ、ならびに以下リンク先に順次掲載させていただきます。

<https://drive.google.com/drive/folders/1TuphTxr7-Y7Nzb1Sh0LvrCwnulDxsE7h?usp=sharing>

なお、登壇者による資料は一部非公開となる場合があり、すべての報告資料が公開されるわけではない点、予めご了承ください。  
※本シンポジウム（第1部、第2部）は録画され、シンポジウム終了後に再エネ講座HPでの公開を予定しております。

10．その他・開催進行について

【若手研究者によるワークショップ】

講演時間は、各講師の講演25分と質問 10分、合計35分を予定しています。

オンライン参加者のご質問はZoomの「Q&A」を使って受け付けますので、「Q&A」に質問事項をご記入ください。

会場参加者には受付にて質問用紙を配布しますので随時ご記入いただき、挙手をお願いします。ネームタグをつけた運営スタッフが講演途中、講演終わりに随時回収し、質問時間10分内で各講師が回答させて頂きます。

【第1部】

講演時間は、各講師30分の講演後に「共通質問・回答」、「パネルディスカッション」の時間を各30分設けています。

オンライン参加者のご質問はZoomの「Q&A」を使って受け付けますので、「Q&A」に質問事項をご記入ください。

会場参加者には受付にて質問用紙を配布しますので、ご記入の上、共通質問（14：05-14：35）の間に挙手をして、お近くの運営スタッフにお手渡しください。

ディスカッションの時間枠で可能な限り、回答、議論させて頂きます。

【第2部】

　オンライン参加者のご質問は、Zoomの「Q&A」を使って受け付けますので、「Q&A」に質問事項をご記入ください。

会場参加者には受付にて質問用紙を配布しますので、「意見交換・討論」中の16：30から17：00までに挙手をして、お近くの運営スタッフにお手渡しください。

フロア討論の時間枠で可能な限り、回答させていただきます。

ご不明な点につきましては下記までお問合せください。

++++++++++++++++++++++++++++++++

再エネ講座シンポジウム2022事務局

E-mail：ree.kyoto.u@gmail.com

HP: <http://www.econ.kyoto-u.ac.jp/renewable_energy/stage2/top/>

〒606-8501　京都市左京区吉田本町

京都大学大学院　経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座

<TEL:075-753-3474>

++++++++++++++++++++++++++++++++